

## ABSTRACT

### 講演 1 基調講演

#### 「温暖化対策目標をめぐって」

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

理事長 茅 陽一

パリ協定は2℃目標を提示し、更に2018年10月にIPCCが出した1.5℃報告はかなりの人々に1.5℃を追求目標とする気分を植え付けた。しかし、1.5℃目標の実現は温室効果ガスのきびしい削減を前提とし、実現は容易ではない。むしろ世界はそのような温度目標ではなくCO<sub>2</sub>ゼロエミッションへ努力するといった具体的行動目標を定めて皆が努力するほうが現実的ではないか。

そしてその場合もっとも問題となるのはCO<sub>2</sub>排出の大きなシェアを占める電力のゼロエミッションの実現だ。そのために何が必要でそれがどのような努力が必要かを検討してみたい。

#### 茅 陽一



1957年東大工学部卒、工学博士。  
東京大学電気工学科教授、慶応義塾大学大学院教授を経て現在、(公財)地球環境産業技術研究機構理事長、東京大学名誉教授。  
専門エネルギー環境システム工学、特に温暖化問題とその対策技術のシステム分析に大きな関心。二酸化炭素の排出エネルギー、脱炭素、経済成長で説明する恒等式は茅恒等式として世界的に著名。電気学会会長、エネルギー資源学会会長、政府総合資源エネルギー調査会会長等歴任。電気学会功績賞など受賞多数。2014年瑞宝重光章叙勲。